

救急コール 仕様一覧

乗組員用 救急発信器



型名	TV-S7
無線機の種類	426MHz帯(小電力セキュリティ)
送信電力	10mW+20%-50%
送信起動方法	手動スイッチ/自動(水センサー)
電池	LR44×3個(市販のアルカリ電池)原則1年で交換
構造	防水構造 JIS7 級相当
寸法(突起物含まず)	縦 67×横 45×奥行 16 mm
質量	約 50g(電池、ストラップ含む)
使用温度範囲	-10~60℃

船舶用 受信制御器



最大5台まで登録可能

型名	TR-7530
GPSの接続	NMEA0183 Ver. 1.5/2.1
救急信号出力のタイミング	1. 登録されているシリアル番号を含む救急発信器からの信号を受信した場合。 2. 前面パネルの“救急”スイッチを押した場合。
救急信号解除	前面パネルの解除スイッチを押した場合。
受信感度	-6dBμVemf以下(12dB SINAD)
受信周波数	426MHz帯(小電力セキュリティ)
オプション機器駆動信号出力	救急信号送信時に以下のオプション機器を駆動させる接点信号を端子盤より出力する。 オプション機器: 警報灯、サイレン
電源電圧	DC12VまたはDC24V
消費電流	0.5A以下
寸法(突起物含まず)	縦 150×横 180×奥行 50mm
質量	約 800g
動作温度範囲	-10℃~50℃

海岸局用 救急信号処理器



型名	TSD-7530
救急信号の出力	RS-232C
外部出力	接点信号出力(警報機、発光器用)
音声入力	100mV rms(標準入力)
電源電圧	AC100V±10%
消費電流	5VA以下
寸法(突起物含まず)	縦 150×横 180×奥行 50mm
質量	約 800g
動作温度範囲	0℃~50℃

多人数向け“救急コール” 仕様一覧

船舶用 受信表示器



複数受信のLEDです。
救急通報を受信した発信器の番号を表示

15 通報ボタンによる発信
15 水センサーによる発信

15 → 正常に受信。電池もOK。
15 → 正常に受信。電池残量が減。早めの交換をお勧めします。
15 → 正常に受信。電池残量が極少。すぐに交換してください。

落水者の発生を船内に知らせる、30人乗りまでの多人数向け救急支援連絡装置です。

型名	TR-7530-30
登録台数	救急発信器 最大30台まで
受信周波数	426MHz帯(小電力セキュリティ)
受信感度	-6dBμVemf以下
電源電圧	DC12VまたはDC24V
消費電流	0.5A以下
寸法(突起物含まず)	縦 150mm×横 180mm×奥行 50mm
質量	1kg以下
動作温度範囲	0℃~50℃
テスト機能	テストスイッチを押して、発信器から通報すれば電池電圧と動作を確認できます。

システム構成図



最大30台まで登録可能

室外

発光器

サイレン

救急事態の発生の連絡を支援するための装置であり、直接の救助や、人命の安全を保障するものではありません。ライフジャケットの着用や日常の動作点検を適宜行ってください。

●本製品を国外に持ち出すときは、外国為替および輸出関連法令により、日本国政府の輸出許可が必要となる場合がありますので、当社営業までご連絡ください。
●製品仕様、デザインなどは改善等の理由により、予告なしに変更することがあります。

三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジーズ株式会社

営業本部 電子応用営業部 通信営業課 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目15番9号(光村ビル6F)

TEL(03)5719-8646 FAX(03)5434-2060



2023年10月作成 23-C-067

救急コール



乗組員用 救急発信器 TV-S7



船舶用 受信制御器 TR-7530

小型漁船救急支援連絡装置

- 海中転落、急病等の不測の事態が発生した場合に船名・発生位置等の情報を海岸局へ通報(自動または手動)
- 27MHz/40MHz/150MHz DSB 無線機とGPSは既設品が使用可能
- 救急発信器は小電力セキュリティを使用するため免許は不要!(DSB無線機は免許が必要です。)
- 救急信号発信時に安全装置(外部装置)や警報灯、警報器に信号を発信出来る。

海中転落事故等に対応し、乗組員の危機を即座に通報

多人数向け“救急コール”



船舶用 受信表示器 TR-7530-30



乗組員用 救急発信器 TV-S7

受信表示器 1台で救急発信器を最大30台登録可能

- 救急発信器の使用には免許不要。(小電力セキュリティ)
- 救急信号発信に連動する接点出力機能により、警報灯や警報器に接続可能なため異常の発生を他の乗組員へ連絡可能。
- 複数の救急信号を受信した場合、発信器番号を交互に表示

海中転落事故等に対応し、乗組員の危機を即座に通報

乗組員が携帯する救急発信器が信号を発信、落水等の緊急事態を通報するシステムです。

海水に浸かると
自動発信
(手動発信も可能)



乗組員用救急発信器
ライフジャケットの
上部ポケットに装着
(脱落防止のネックストラップ付き)
救急発信器の到達距離は150m以上



レスキュー



小型漁船救急支援連絡装置の信号伝送の流れ。

- 乗組員が携帯する救急発信器が 自動 (水センサー) または手動スイッチで起動して信号を発信 (開始)。
↓
- 漁船の受信制御器が信号を受信し、緊急事態を通報。
●DSB 無線機より船名、緯度経度を含む救急信号を海岸局へ自動送信。
●救急信号の通報と連動した接点信号出力機能により、警報灯の点滅、警報器の鳴動や他の安全装置への接続が可能 (警報灯、警報器等は外部装置)

- 救急信号を受信した際の海岸局設備の動作
●DSB 無線機が救急信号を受信すると、救急信号処理器が情報を復調して救急情報表示器 (パソコン) にデータを送出。
●救急情報表示器はモニタの海図上に船名、位置、時刻を表示 (外部ネットワークへの救急情報の出力も対応可能)
●救急信号処理器は救急信号受信に連動した接点出力機能により、警報器などへの接続が可能。

救助機関等



新スプリアス規格に適合した無線機に換装をお考えの方へ

弊社製 27MHz 1W DSB 無線機 TV-S606 及び 150MHz 1W DSB 無線機 TV-S156 に救急コール受信機能を追加 (オプション) することで受信制御器 (TR-7530) は不要となります。詳細に関しては弊社担当営業まで御問合せ下さい。